



前期後半プレイボール!

41 日間の夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。「おはようございます!」と、久しぶりに元気にあいさつを交わしてくれる子ども達。そんな子ども達の姿を見て、私は朝からたくさんの元気をもらうことができました。

各ご家庭で、お子さんの夏休みの生活はいかがだったでしょうか。何よりも子ども達が 41 日間を無事に過ごし、元気に登校したのがうれしいことです。夏休み中にはご家庭、地域の皆様が子ども達を見届けてくださったおかげで、安心・安全に過ごすことができたのだろ



と思います。ありがとうございました。

さて、来月にかけて前期の学習と生活のまとめの期間となっていきます。子ども達は、4月早々に新学年に向けての目標を立てています。その目標はどれくらい達成できているでしょうか。自分の力でコツコツと目標を達成していくことは、自信につながっていくはずで

です。学校ではこれまでと同様に、子ども達一人一人が自己の成長に向けて力を発揮できるように支援してまいります。

今後も子ども達の安全・安心を守ることを最重点に取り組んでまいりますので、ご家庭や地域の方々のご支援・ご協力をお願いいたします。

高校野球から想うこと・・・

7月26日。21日間の熱戦を経て、横浜スタジアムで甲子園をかけた決勝戦が行われました。今年の決勝は、横浜高校対桐光学園。県内 172 校の頂点を決める大一番です。スタンドは大勢の観客で埋め尽くされ、球場全体が熱気に包まれていました。



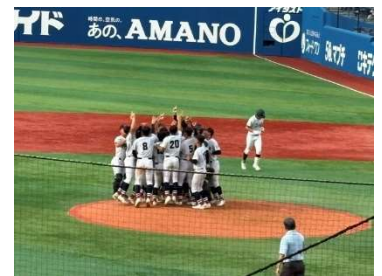
試合を見ながら、私が心を動かされたのは、グラウンドでプレーする選手たちはもちろんですが、それだ



けではありません。ベンチで仲間を信じ、声をからして応援する控え選手。スタンドで熱い声援を送る応援団。温かく見守ってきた保護者の方々。そして、監督やコーチ、学校の先生方、地域の方々など、選手たちを支えてきた全ての人たちの思いが、スタンドにはあふれていました。一つの試合には、

本当にたくさんの人の努力や願いが込められているのだと改めて感じました。

一方で、決勝の舞台に立てたのは 2 校だけです。その陰には、甲子園を目指しながらも途中で夢が途絶えた多くの選手たちがいます。朝早くから始まる練習。暑さの中での走り込み。思うような結果が出ずに悔しい思いをした日。けがやスランプに苦しみながらも、ひたすら白球を追いかけた日々。勝ったチームも負けたチームも同じように努力を重ねてきました。結果は一つしかありませんが、その努力までなくなることはありません。



このことは、学校生活にも通じると思います。勉強でも、運動でも、友達との関わりでも、すぐに結果が出ることばかりではありません。思うようにいかず、悔しい思いをすることもあるでしょう。しかし、毎日少しずつ積み重ねた努力は、必ず自分の力になります。そして、そのがんばる姿は家族や友達、先生など、周りの人たちにも勇気や元気を与えてくれます。大塚台小学校の子ども達にも、「最後まであきらめずに挑戦する人」であってほしいと願っています。うまくいった日だけではなく、失敗し



た日や思うようにいかなかった日にも、「今日もがんばった!」と胸を張れる毎日を送ってほしいのですね。

また、子ども達は多くの人に支えられながら毎日を過ごしています。そのこ
とへの感謝を忘れず、自分も誰かを応援できる人になってほしいと思います。

高校球児たちの真剣な姿は、「努力することの尊さ」と「仲間や支えてくれる人への感謝」を改めて教えてくれました。

大塚台小学校でも、一人一人が自分らしく輝き、お互いを支え合いながら成長していける。そんな学校でありたいと思います。